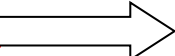


## 睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群(SAS:Sleep Apnea Syndrome)は、睡眠中に何回も呼吸が止まる病気です。最近、新聞やテレビなどでもよく見かけるようになってきました、居眠り運転による交通事故が頻発し社会問題となっています。また、心臓等に負担がかかり高血圧症や脳血管障害などの生命に関わる重大な病気を誘引する危険な病気です。

### 症状と合併症

**イビキ = 熟睡**  **間違いです**

イビキは良く寝ている・熟睡しているという印象がありますが、実際には鼻や喉が塞がることで空気の通りが悪くなり、いびきが発生しています。つまり、いびきをかくことは呼吸が抑制される為に眠りが浅く、ほとんどが睡眠不足の状態です。また、呼吸の抑制により、体内の酸素不足を招き、循環器系や呼吸器系に影響を与え、身体にさまざまな障害・生活習慣病をひきおこすと言われています。



#### こんな症状の方は要注意です！

- ・ 毎晩、大きなイビキをかく
- ・ 日中、強い眠気を感じる
- ・ 集中力がない
- ・ 肥満症
- ・ 夜中に何度もトイレに立つ
- ・ 朝、頭痛がする
- ・ 熟睡感がない

**1つでもあれば要注意です！！**

### 検査と治療

**検査は1泊2日入院(夕方入院、早朝退院)でできます。**

PSG(終夜睡眠脳波)検査は、睡眠時の呼吸と睡眠の状態を調べる検査で痛みはありません。治療は、重症度・患者様の状態により担当医が総合的に判断しますが、CPAP(経鼻的陽圧呼吸)やマウスピース療法が一般的です。CPAPによりほとんどの方のイビキ・無呼吸が改善します。